

◆ごあいさつ

能登半島地震から幕開けた2024年は当法人にとって転換期となる年でした。コロナウイルス流行が小刻みに続く中で、かつてのような遊び場運営を目指さなくてはという想いと、刻々と変化する社会状況に適応しながら遊び環境を維持しなくてはいけないという、様々な課題を突きつけられました。物価や光熱費がかさむ一方、少しでもスタッフの労働条件を良くしたいというジレンマや、遊び場維持のためのスタッフがなかなか集まらないなど、悩みは尽きません。能登半島へ被災復興先進事例である私たちができることを考えましたが、実際にはそのような要望ありませんでした。しかし近頃読んだ専門家のコメントには、子どもの災害復興には遊び場造りが必須であるとの例として、恐らくPEP kids Koriyamaを念頭に置かれたものもありました。世界各地で大きな戦争や災害が起きていますが、やはりそのような状況でも子どもの遊びが重要であると、世界的にも認識されています。

遊びの運営には様々な困難があり、それを乗り越えるために今後の方向性を絶えず模索し続けなければなりません。全国、世界の復興モデルとして、また子どもを育むための一つの好事例となれるような遊び場造りを目指しますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

理事長 菊池 信太郎

■着任のごあいさつ

この度、市川事務局長の後任として、事務局長の大役を仰せつかりました村越でございます。縁あって事務局次長として、令和6年10月より勤務させていただいております。

理事長の菊池信太郎先生とは、初代菊池医院の院長であらせられました、祖母の壽子先生からのお付き合いで、大変お世話になっております。「福島の子もたちを元気に！」を、モットーに開設された東北最大級のこの素晴らしい施設で働かせていただける喜びを糧に、全力投球で努力する所存でございます。以前お世話になった恩返しを含め、一日も早く戦力になれるように、理事長はじめ理事の皆様方にもご指導いただきながら誠心誠意頑張っていこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 村越 明雄

■退任のごあいさつ

平成30年から法人の事務局業務に携わって6年間の過ぎようとしております。この間理事長をはじめ役員の皆様のご指導と職員のご協力を頂き勤務させていただいてまいりました。特に、NPO並びに「ベップキッズこおりやま」の運営に携わることができ、光栄に感じるとともに子どもの成長において、本施設の重要性を強く感じております。

これからは、外部から微力ですがNPOの発展に協力して参るとともに、会員各位の支援があって運営を継続させていただいていることを肝に銘じて参りましたので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。退任のあいさつといたします。

皆様には、ご自愛の上ご活躍されますことお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。

事務局 市川 守

◆オープンから13周年を迎えました。

2024年12月23日(月)に、ベップキッズこおりやまオープンから13周年を迎えました。

23日にはカバヤ食品株式会社様・カルビー株式会社様・株式会社東ハト様・株式会社ブルボン様・株式会社明治様・株式会社ロッテ様ご提供のお菓子、24日にはコンフェックス株式会社様ご提供のクリスマスブーツを、ご来場いただいた子どもたちにサンタさんからプレゼントしました。



◆Health Wave KORIYAMAにインタビューが掲載されました。

郡山市保健所による「ココカラこおりやま！」に取材いただき、プレイリーダーの思いが「Health Wave Koriyama」に掲載されました。

「健康」をテーマに、ベップキッズで得られる3つの力やどんな親子も安心できる場所でありたいプレイリーダーの思いがギュッと詰まった記事にいただきました。

<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/kokokara-koriyama/108328.html>



◆ペップアクティブ

プレイリーダーが常駐して子どもの「やってみたい!」を引き出す遊びの仕掛けをし、体を使った遊びをすることで『あたま』『こころ』『からだ』の成長を促しています。

幼いころの「運動が楽しかった!」という経験は、大人になってからの運動習慣に繋がるといわれています。

アクティブでは、子どもたちが遊びからたくさんの経験できるように、そして生涯に渡って運動を楽しむことができるよう、サポートしてまいります。



遊ぶ

◆ペップキッチン

ちょっぴり苦手な野菜も、ちょっと難しい道具もみんなと一緒に挑戦すると、最後まで頑張るお子さんの姿が見られます。

お子さん自身が「自分でできた」を感じられ、少し大人になれるような場所を目指しています。

体の中から元気を作るキッチンでこれからも、たくさんの「できた」を見守り続けていきます。



育つ

◆ペップコミュニケーション

それぞれの年齢の「発育・発達・興味」に合わせ、知的好奇心や感性を引き出し、豊かな精神力を育みます。

実験やリトミック、読み聞かせなど親子でふれあいながら挑戦できる各種イベントを開催しています。子どもたちの知的好奇心や感性を引き出し、子どもたちが楽しみながら自分の「好き!」を感じるきっかけに。また、臨床心理士による定期的な子育て相談会も実施しています。



学ぶ

◆情報発信中!

公式インスタグラムでは、入場状況・イベント情報・毎月のキッチンメニューなどを発信しています。

広い屋内にたくさんの遊具は子どもにとって魅力的…!でもペップキッズの魅力はそれだけではありません。そこで、まだまだ知られていないペップキッズの魅力に迫る発信を続けています。

また、プレイリーダー自身の『やってみたい!』を広げるため、プレイリーダー自身がさまざまな遊びに挑戦するコンテンツを数多く発信しています。

ペップキッズの元気が、ペップキッズに関わるすべての方の元気になるために。そして子どもたちの『やってみたい!』につながる発信を続けていきますので、ぜひご覧ください!



公式インスタグラム



@pepkids.koriyama

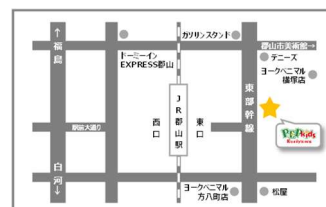
認定NPO法人 郡山ペップ子育てネットワーク

NPO PEP Network of Child Care in Koriyama

郡山市元気な遊びのひろば「PEP kids Koriyama」は、郡山市が設置・管理し、ひろば等の運営などは当法人が受託しています。当法人は、福島・日本中の親子が元気(PEP)になるための活動をしているNPOです。

〒963-8803 福島県郡山市横塚一丁目1-3 郡山市元気な遊びのひろば「PEP kids Koriyama」内

TEL : 024-942-6777 FAX : 024-942-6778



ペップキッズこおりやま

検索